

調査レポート

アジア経済概況(2015年4-6月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・4-6月期の成長率は+7.0%で前期から横ばい p.1
- 2. 中国の主要指標解説:輸入市場の変化 p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・景気は弱含んでいる p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+2.2%に鈍化 p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・景気の回復テンポは依然として緩やか p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・景気の拡大テンポは緩やか p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・1-6月期の成長率は+6.3%と緩やかに回復 p.9
- 5. インド経済の概況・・・景気の持ち直しは緩やか p.10

. アジア通貨・株価動向 p.11

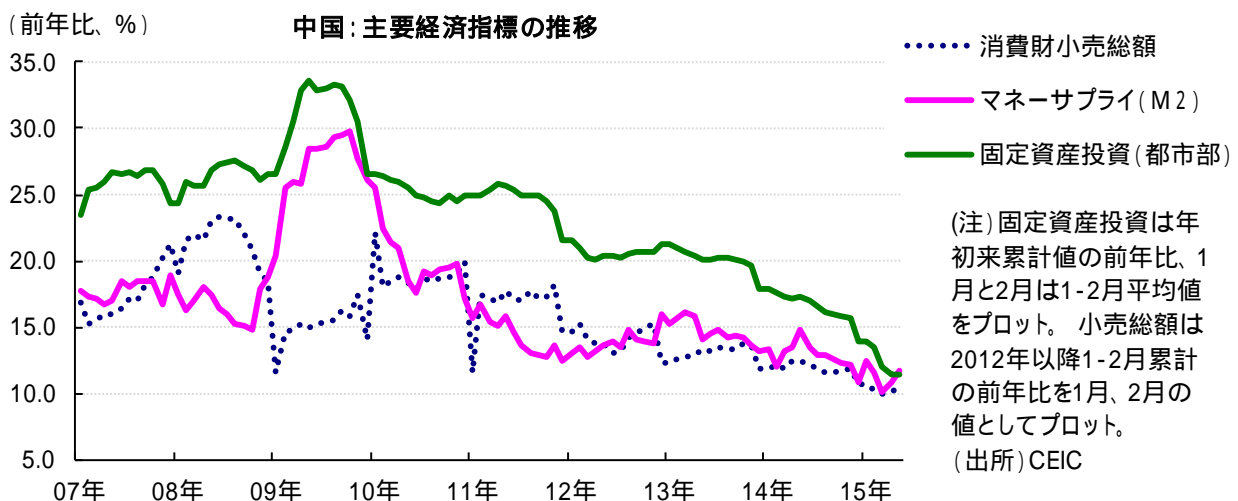
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2
TEL: 03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気は減速しているが、政策効果から一部に下げ止まりの動きがみられる。
- ・ 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+7.0%と前期から横ばいであった。前期比ベースでは+1.7%（年率換算で+7.0%）と前期（同+1.4%、年率換算で+5.7%）から0.3%ポイント（年率換算ベースで1.3%ポイント）加速した。株価の高騰を背景に金融サービス部門が牽引役を担ったとみられる。
- ・ 消費の状況を消費財小売総額でみると、底堅く推移しているものの、大規模店の不振が続いており、4-6月期は前年比+10.2%と前期の同+10.6%に比べて弱い数字にとどまった。自動車販売も前年比-1.0%と弱い動きになっている。商用車販売が前年比マイナスで推移している中で、乗用車販売も4-6月期前年比+0.5%と小幅増加にとどまった。
- ・ 固定資産投資は不動産関連の投資の鈍化から1-6月期前年比+11.4%と1-3月期の同+13.5%から一段と鈍化している。
- ・ 輸出は6月に前年比+2.8%と4カ月ぶりにプラスに転じたものの、4-6月期全体では前年比-2.2%となった。ただし、輸入が同-13.6%と引き続き大幅なマイナスであったことから、4-6月期の貿易収支は1395億ドルの黒字となった。
- ・ 製造業購買担当者指数（PMI）は3月以降4カ月連続して小幅ながら景気の拡大と縮小の分岐点である50を上回っている。昨年11月以降4回にわたる利下げや今年に入って2度の預金準備率の引下げなどの景気てこ入れ策の効果とみられる。
- ・ マネーサプライの増加率も6月には前年比+11.8%に持ち直した。一方、昨年7月頃より上昇に転じた株価は年初から上げ足を速めたが、6月中旬以降、信用取引規制の強化などを受けて急落した。その後、政府の株価下支え策により一旦は大幅な下落は止まったものの、依然として不安定な値動きが続いている。



【中国・香港の主要経済指標】

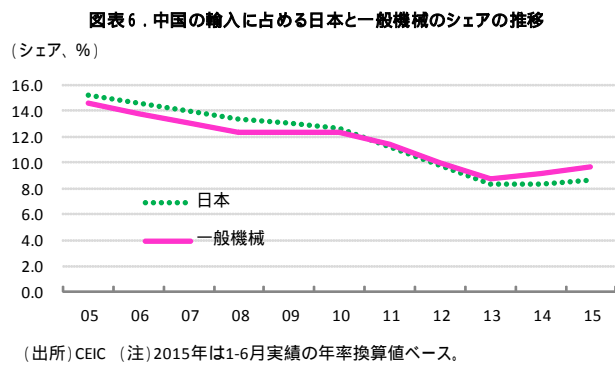
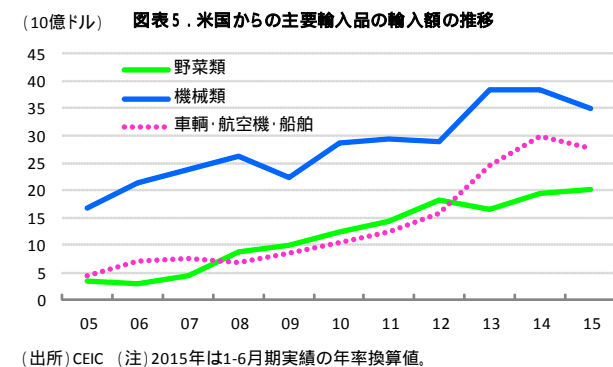
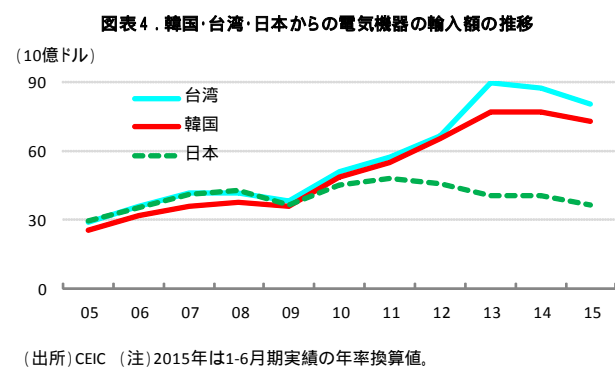
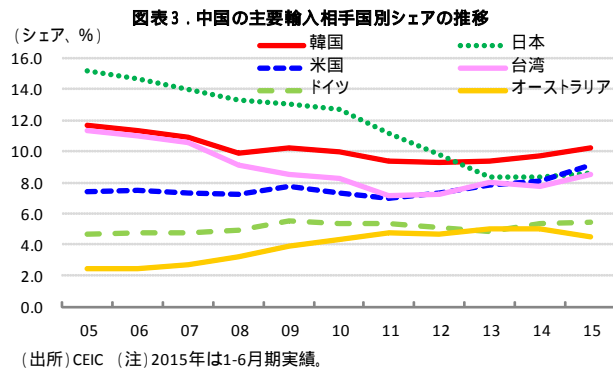
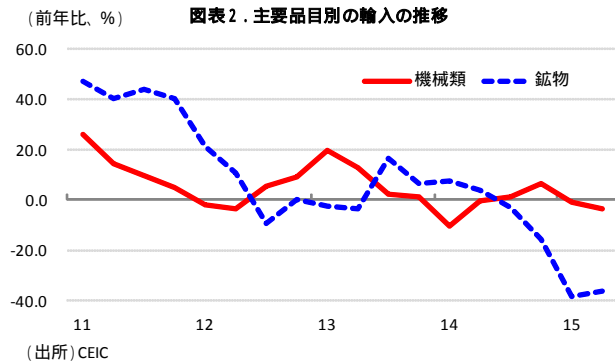
			2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.9	1.9	1.5	1.4	1.7				
			前年比%				7.5	7.3	7.3	7.0	7.0				
		(累計ベース)	前年比%	7.7	7.7	7.4	7.4	7.4	7.4	7.0	7.0				
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.3	10.1	8.2	8.5	8.5	8.2	5.8	6.5				
	消費	消費財小売総額	前年比%	14.2	13.2	12.0	12.3	11.9	11.7	10.6	10.2	10.2	10.0	10.1	10.6
		うち都市部	前年比%	14.2	13.0	11.9	12.1	11.8	11.6	10.4	10.0	10.0	9.8	9.9	10.4
		うち農村部	前年比%	14.5	14.8	12.9	13.5	12.8	12.4	11.6	11.6	11.5	11.4	11.6	11.8
		自動車販売台数	前年比%	4.3	13.9	6.9	7.5	4.2	6.2	3.9	1.0	3.3	0.5	0.4	2.3
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	7.1	15.7	9.9	12.3	8.1	9.2	9.0	0.5	9.4	3.7	1.2	3.4
		消費者自信指数	期中平均	102.4	101.2	104.4	103.9	104.5	104.9	107.5	107.7	107.1	107.6	109.9	105.5
消費者期待指数		期中平均	106.9	105.5	107.9	107.3	107.8	108.4	110.8	110.8	110.3	110.9	113.4	108.0	
投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	20.6	19.6	15.7	17.3	16.1	15.7	13.5	11.4	13.5	12.0	11.4	11.4	
	うち不動産・居住用建物	前年比%	22.1	20.3	11.1	14.1	12.6	11.1	9.0	5.7	9.0	7.1	6.1	5.7	
	うち国内企業	前年比%	21.2	20.5	16.3	18.3	16.8	16.3	13.8	11.8	13.8	12.3	11.7	11.8	
	うち製造業	前年比%	22.0	18.5	13.5	14.8	13.8	13.5	10.4	9.7	10.4	9.9	10.0	9.7	
	うち鉄鋼	前年比%	2.0	2.1	5.9	8.4	5.0	5.9	5.4	11.4	5.4	9.7	6.2	11.4	
	うち輸送機械(自動車)	前年比%	32.8	15.0	8.3	12.1	10.2	8.3	7.6	12.5	7.6	8.4	9.1	12.5	
	うち電気機械	前年比%	4.8	10.7	12.9	16.0	13.9	12.9	13.4	9.9	13.4	11.9	10.1	9.9	
	うち情報通信機器	前年比%	12.9	20.2	10.7	9.4	8.8	10.7	18.3	20.8	18.3	19.1	20.0	20.8	
	直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	10.1	8.6	4.4	3.2	5.5	4.4	22.4	8.6	22.4	16.9	9.6	8.6	
	直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	2.3	2.9	1.7	2.2	1.4	1.7	10.6	8.0	10.6	10.5	10.1	8.0	
不動産景気指数	期中平均	95.6	97.3	95.2	95.2	94.8	94.3	93.4	92.5	93.1	92.6	92.4	92.6		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	230.3	259.0	382.5	85.9	128.1	149.5	123.7	139.5	3.1	34.1	58.9	46.5	
	輸出(ドルベース)	前年比%	7.9	7.8	6.1	4.9	12.9	8.5	4.6	2.2	15.0	6.5	2.8	2.8	
	輸入(ドルベース)	前年比%	4.3	7.2	0.5	1.3	1.2	1.6	17.8	13.6	12.9	16.4	17.8	6.3	
	対米貿易収支	10億ドル	218.9	216.1	237.0	58.7	69.6	70.0	53.2	66.7	11.7	19.5	24.2	22.9	
	対日貿易収支	10億ドル	26.2	12.1	13.6	4.2	5.8	3.3	0.4	3.4	2.6	1.9	0.1	1.6	
	外貨準備	期末10億ドル	3311.6	3821.3	3843.0	3993.2	3887.7	3843.0	3730.0	3693.8	3730.0	3748.1	3711.1	3693.8	
	生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	10.0	9.7	8.3	8.8	8.5	8.3	6.4	6.3	6.4	6.2	6.2	6.3
うち国有企業		前年比%	6.4	6.9	4.9	5.5	5.2	4.9	1.7	1.9	1.7	1.7	1.8	1.9	
うち株式企業		前年比%	11.8	11.0	9.7	10.2	9.9	9.7	7.4	7.5	7.4	7.4	7.4	7.5	
うち外商・港台企業		前年比%	6.3	8.3	6.3	7.4	6.7	6.3	4.3	3.8	4.3	3.9	3.7	3.8	
発電量		前年比%	4.2	8.3	5.1	7.3	3.2	2.7	3.0	3.9	0.4	4.7	3.3	3.6	
製造業購買担当者指数(PMI)		%	50.8	50.8	50.7	50.7	51.3	50.4	49.9	50.2	50.1	50.1	50.2	50.2	
うち新規受注		%	50.9	51.7	51.6	52.1	52.8	51.0	50.3	50.3	50.2	50.2	50.6	50.1	
所得雇用	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	12.6	7.7	9.0	9.6	9.3	9.0	8.3	8.1					
	労働力市場求人倍率	期末	1.08	1.10	1.15	1.11	1.09	1.15	1.12	1.06					
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.8	40.3											
	物価	消費者物価指数	前年比%	2.7	2.6	2.0	2.2	2.0	1.5	1.2	1.4	1.4	1.5	1.2	1.4
うち食品		前年比%	4.9	4.7	3.1	3.4	3.0	2.6	1.9	2.1	2.3	2.7	1.6	1.9	
うち家庭設備・家庭用品		前年比%	1.9	1.5	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	1.2	1.1	1.0	1.0	
生産者物価指数		前年比%	1.7	1.9	1.9	1.5	1.3	2.8	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.8	
金融		マネーサプライ(M2)	前年比%	13.8	13.6	12.2	14.7	12.9	12.2	11.6	11.8	11.6	10.1	10.8	11.8
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	2.80	3.30	2.74	2.55	3.00	2.69	3.08	1.56	3.37	2.26	1.24	1.19	
	株価指数(上海総合)	期末	2,269	2,116	3,235	2,048	2,364	3,235	3,748	4,277	3,748	4,442	4,612	4,277	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.31	6.20	6.14	6.16	6.16	6.14	6.14	6.12	6.15	6.13	6.11	6.12	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.6	15.8	17.2	16.5	16.9	18.6	19.3	19.8	19.5	19.4	19.7	20.2	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	1.7	3.1	2.5	2.0	2.9	2.4	2.1					
		うち民間消費	前年比%	4.1	4.6	3.2	1.8	4.7	4.1	3.5					
		うち固定資本形成	前年比%	6.8	2.6	0.2	6.0	1.7	3.4	7.3					
		名目GDP成長率	前年比%	5.3	5.0	5.5	6.7	5.3	4.8	6.7					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	7.1	10.8	0.4	8.4	3.6	4.0	0.0		1.4	4.5	6.6	
		貿易	貿易収支	10億ドル	478	503	550	141	124	161	119	125	46	39	40
	輸出(香港ドルベース)		前年比%	2.9	3.6	3.2	4.8	5.9	1.2	2.3	2.0	1.8	2.2	4.6	3.1
	輸入(香港ドルベース)		前年比%	3.9	3.8	3.9	4.6	5.7	3.3	1.4	3.2	2.7	2.9	4.7	2.0
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.1	4.3	4.4	3.6	4.8	5.1	4.4	3.0	4.6	2.8	3.1	3.2
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	10.3	11.7	12.6	13.4	14.5	11.0	10.2		11.8	10.3	9.1	
	ハンセン指数	期末ポイント	22,657	23,306	23,605	23,191	22,933	23,605	24,901	26,250	24,901	28,133	27,424	26,250	

(出所)CEIC

2. 中国の主要指標解説：輸入市場の変化

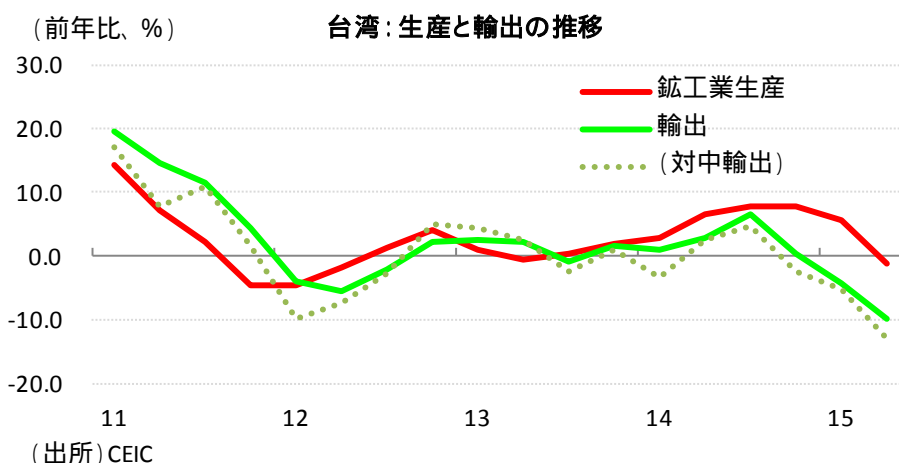
2014年10-12月期以降、輸入の伸び率鈍化が続いている（図表1）。主な要因は輸出の低迷に伴う中間財等の輸入の鈍化と原油価格をはじめとする商品価格の低下に伴う輸入金額の減少と考えられる（図表2）。

ところで、こうした足元の変化とは別にこの10年間に輸入構造にいくつかの変化がみられる。具体的には日本のシェアが低下する一方で、持ち直し傾向がみられる韓国と台湾のシェア、緩やかに拡大する米国のシェアといった変化である（図表3）。輸入の3割強を占める機械類のうちの7割を占める電気機器については2005年時点では台湾、韓国、日本からの輸入額がほぼ同じであったが、2010年以降、日本からの輸入額が横ばいにとどまる中で台湾、韓国からの輸入額は大幅に拡大し、さらに2013年、2014年には台湾からの輸入額が韓国のそれを100億ドル以上上回っていた（図表4）。また米国からは近年、機械類に加えて航空機など輸送機械や野菜類の輸入が増加し、総額で台湾を上回る輸入相手国となっている（図表5）。日本のシェア低下は電気機器分野での伸び悩みに加えて、日本が輸入シェアの2割を占める一般機械の中国の輸入全体に占めるシェアが低下傾向にあることも影響しているとみられる（図表6）。伸び率が鈍化しているとはいえ、世界第2位、約2兆ドルの中国市場を巡っては今後も競争が続こう。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は弱含んでいる。
- ・1-3月期の実質GDP成長率は、輸出の伸びが鈍化したものの、内需が底堅く推移し、また輸出の不振を反映した輸入の伸び鈍化から純輸出のプラス寄与が拡大したこともあり、前年比+3.4%と前期(同+3.5%)から横ばいにとどまった。台湾政府は2015年通年の成長率見通しを2月時点の+3.78%から+3.28%に下方改訂した。
- ・4-6月期の鉱工業生産は輸出の不振から前年比-1.2%と2013年4-6月期以来2年ぶりにマイナスに転じた。輸出は全体の4分の1を占める対中輸出の不振から前年比マイナスが続いている。中国の景気減速に加えて、地場企業との競合がその要因と指摘されている。長引く輸出の低迷が当面、景気の下押し要因となりそうだ。
- ・台湾中銀は6月、景気が弱含みで推移するなかで、物価は安定基調にあるとして、2011年7-9月期以降16四半期連続となる政策金利の据え置き(1.875%)を決めた。



【台湾の主要経済指標】

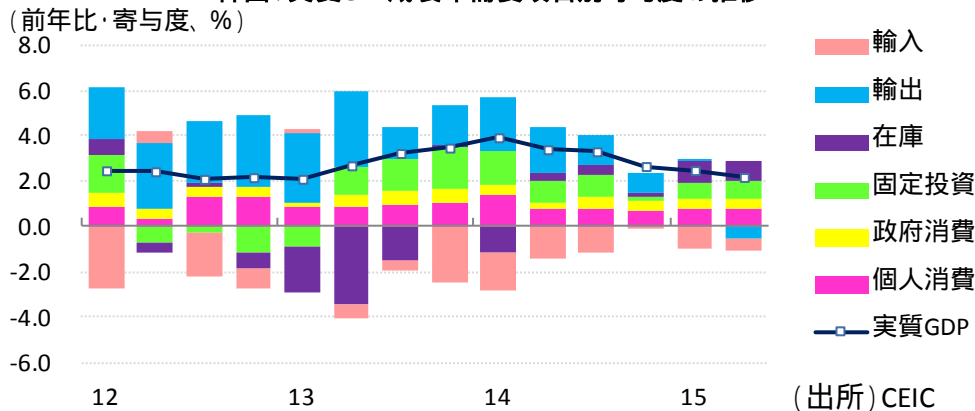
		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.7	1.5	0.5	0.7					
		2.1	2.2	3.8	3.9	4.3	3.5	3.4					
	うち個人消費	1.8	2.4	3.0	3.3	3.8	2.4	2.5					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.6	5.0	1.8	1.6	4.8	0.0	0.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.2	0.7	6.4	6.7	7.7	7.9	5.8	1.2	6.7	1.3	3.5	1.4
消費	卸小売販売指数(yoy)	0.1	2.6	2.6	3.3	2.0	3.2	6.3	4.1	6.4	5.3	3.0	4.2
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	30.7	35.5	39.7	9.7	10.3	13.2	13.4	12.3	4.1	4.8	5.4	2.2
	輸出(yoy)	2.3	1.4	2.7	2.9	6.6	0.4	4.2	9.8	8.9	11.7	3.8	13.9
	輸出受注(yoy)	1.1	0.4	6.7	8.0	8.0	7.9	2.5	5.2	1.3	4.0	5.9	5.8
	輸入(yoy)	3.9	0.2	1.5	3.7	7.5	3.3	15.0	14.9	17.7	22.1	5.4	16.1
	経常収支(10億ドル)	49.0	55.3	65.4	16.1	15.2	19.1	22.0					
	外貨準備高(10億ドル)	403	417	419	423	421	419	415	421	415	418	419	421
雇用	失業率(季調値)	4.2	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
物価	消費者物価(yoy)	1.9	0.8	1.2	1.6	1.5	0.8	0.6	0.7	0.6	0.8	0.7	0.6
金融	M2-サプライ(M2,yoy)	3.5	5.8	6.1	5.4	5.0	6.1	6.4	6.3	6.4	6.7	6.9	6.3
	株価指数(加権指数)	7,700	8,612	9,307	9,393	8,967	9,307	9,586	9,323	9,586	9,820	9,701	9,323
	短期金利(オールナイト)	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート(NTドル/ドル)	29.6	29.8	30.4	30.2	30.1	30.9	31.6	31.0	31.5	31.1	30.7	31.1
	為替レート(円/NTドル)	2.69	3.28	3.49	3.38	3.46	3.71	3.77	3.92	3.82	3.84	3.93	3.98

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・景気は再び低迷基調に戻っている。
- ・4-6月期の実質GDP成長率(速報値)は前年比+2.2%と前期(同+2.5%)から0.3%ポイント、また前期比では+0.3%と前期(同+0.8%)から0.5%ポイント鈍化した。中国の景気減速の影響などから輸出が引き続き不振であったほか、MERS(中東呼吸器症候群)の発生で消費が低迷し、さらに旱魃により農業生産も落ち込んだ。
- ・韓国中銀は6月に今年2度目となる利下げ(0.25%ポイント)を実施し、政策金利を1.50%に引き下げた。7月の金融通貨委員会では様子見のため1.50%に据え置かれたが、景気低迷が続く足元の状況を受けて2015年の成長率見通しを4月時点の+3.1%から+2.8%にさらに下方改訂した。
- ・MERSは今年5月に感染者が確認されて以来、外国人観光客の減少、あるいは市民が外出を控えるなど韓国経済に大きな影響を与えてきたが、7月初旬以降、新しい感染者が発生しておらず、韓国政府は7月28日に事実上の終息宣言を発表した。

韓国: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【韓国の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.5	0.8	0.3	0.8	0.3				
	(前年比)	2.3	2.9	3.3	3.4	3.3	2.7	2.5	2.2				
	うち個人消費	1.9	1.9	1.8	1.7	1.5	1.4	1.5	1.6				
	うち固定資本形成	0.5	3.3	3.1	3.3	3.3	0.7	2.4	2.6				
	うち設備	0.1	0.8	5.8	7.7	4.2	4.2	5.8	4.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.4	0.7	0.1	0.4	1.2	1.8	0.9		0.1	2.6	2.8	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.5	0.7	1.6	0.8	1.5	1.8	1.7		2.8	4.9	3.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	28.3	44.0	47.2	14.7	8.9	18.3	21.6	24.7	8.4	8.5	6.3	10.0
	輸出(yoy)	1.3	2.1	2.3	3.2	3.6	0.9	3.0	7.2	4.5	8.0	11.0	2.4
	輸入(yoy)	0.9	0.8	1.9	3.3	5.4	2.8	15.5	15.6	15.5	17.7	15.4	13.6
	経常収支(10億ドル)	50.8	81.1	89.2	24.2	22.6	27.2	23.5		10.4	8.1	8.7	
	外貨準備高(10億ドル)	327	346	364	367	364	364	363	375	363	370	372	375
雇用	失業率(季調値)	3.2	3.1	3.5	3.7	3.5	3.5	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.9
物価	消費者物価(yoy)	2.2	1.3	1.3	1.6	1.4	1.0	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	4.8	4.6	8.1	5.7	7.2	8.1	8.5		8.5	9.4	9.1	
	株価指数(総合)	1,997	2,011	1,916	2,002	2,020	1,916	2,041	2,074	2,041	2,127	2,115	2,074
	CDレート(3カ月物)	3.30	2.72	2.49	2.65	2.51	2.16	2.07	1.77	1.95	1.81	1.80	1.70
	為替レート(ウォン/ドル)	1,127	1,095	1,053	1,030	1,026	1,087	1,100	1,097	1,113	1,089	1,091	1,112
	為替レート(円/100ウォン)	7.1	8.9	10.1	10.0	10.2	10.6	10.9	11.1	10.9	11.1	11.2	10.9

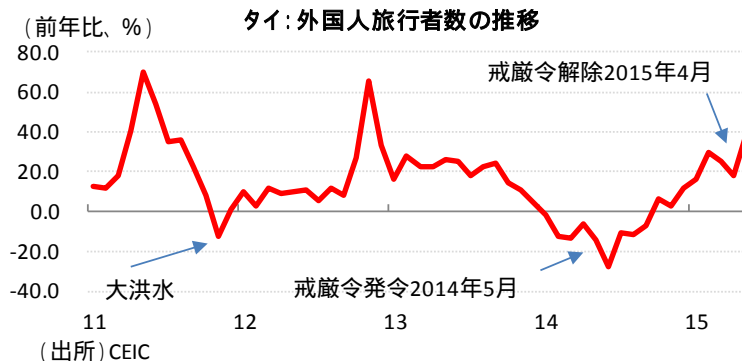
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の回復テンポは依然として緩やかなものとどまっている。
- ・景気の牽引役は引き続き観光業と公共投資である（5月の外国人旅行者数は前年比+38.2%）。これに対して輸出は中国など近隣アジア諸国の景気減速から不振である。また個人消費は農産品価格の下落と旱魃による生産の減少から農家所得が減少していることなどを背景に4月、5月とも前年比-0.8%と低迷している。こうした内外需の低迷から4-6月期の生産は同-7.6%に落ち込んでおり、企業の設備投資も低い水準にとどまっている。
- ・こうした中でタイ中銀は景気テコ入れのため、3月、4月と2カ月連続でそれぞれ0.25%ポイントの利下げを実施したが（2.00% 1.75% 1.50%）、6月は様子見として1.50%に据え置いた（次回の政策会合は8月5日）。また中銀は2015年の成長率見通しを3月時点の+3.8%から+3.0%に、インフレ率の見通しを+0.2%から-0.5%（コア・ベースでは+1.2%を+1.0%）に引き下げた。



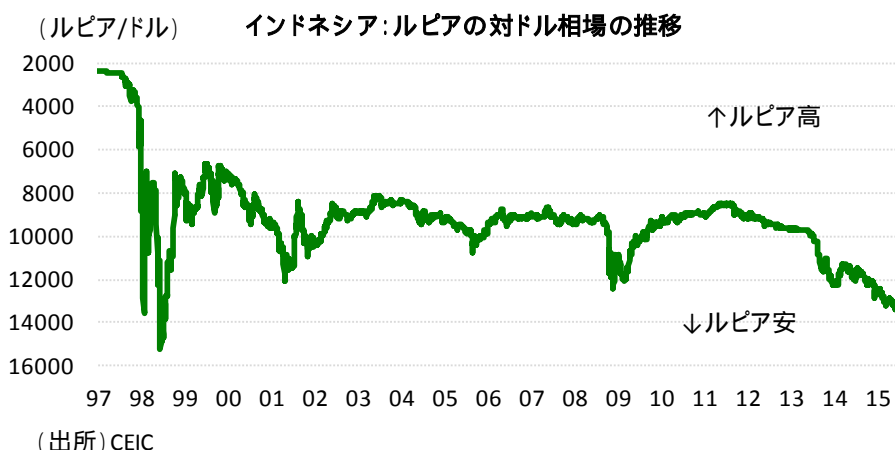
【タイの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	2.8	0.9	0.9	1.0	2.1	3.0					
	個人消費	6.3	0.8	0.6	0.8	2.5	2.1	2.4					
	総固定資本形成	10.2	0.8	2.6	5.1	2.6	3.2	10.7					
生産	製造業生産指数(yoy)	2.2	3.2	4.6	4.8	3.9	2.3	0.1	7.6	1.7	7.1	7.6	8.0
消費	個人消費指数(yoy)	8.2	1.7	0.6	1.9	1.1	1.3	1.2		0.6	0.8	0.8	
投資	民間企業投資指数(yoy)	10.2	0.9	2.7	2.6	2.9	0.9	1.2		0.6	0.7	0.4	
輸出入 BOP ^A -s	貿易収支(10億 ^{ドル})	6.7	6.7	24.6	5.9	4.8	7.7	7.4		3.5	1.7	4.2	
	輸出(yoy)	3.0	0.1	0.3	0.3	1.8	1.5	4.3		4.3	1.8	5.5	
	輸入(yoy)	8.4	0.1	8.5	11.8	0.8	5.8	7.2		6.2	9.1	20.3	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	1.5	3.9	13.4	0.5	0.5	9.0	8.2		2.2	1.1	2.1	
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	171.1	159.0	149.1	159.3	153.3	149.1	148.5	152.5	148.5	153.2	150.6	152.5
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.8	1.0	0.8	0.6	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.0	2.2	1.9	2.5	2.0	1.1	0.5	1.1	0.6	1.0	1.3	1.1
	消費者物価(コア,yoy)	2.1	1.0	1.6	1.7	1.8	1.7	1.5	1.0	1.3	1.0	0.9	0.9
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	10.4	7.3	4.7	4.4	4.0	4.7	6.1		6.1	6.1	6.3	
	株価指数(SET)	1,392	1,299	1,498	1,486	1,586	1,498	1,506	1,505	1,506	1,527	1,496	1,505
	インターバンク金利(3M)	3.08	2.69	2.22	2.18	2.18	2.18	2.12	1.75	2.02	1.91	1.67	1.66
	為替レート(円/US\$)	31.1	30.7	32.5	32.5	32.1	32.7	32.6	33.3	32.6	32.5	33.6	33.7
	為替レート(円/TH\$)	2.57	3.17	3.25	3.15	3.24	3.49	3.65	3.65	3.69	3.67	3.60	3.67

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・個人消費は景気減速への懸念から消費者マインドが悪化する中で足元、弱含んでいる。輸出は一次産品価格の下落や中国をはじめとする主要輸出相手国の景気の減速から前年比二桁のマイナスが続いている。ただし、石油ガスを除くベースではマイナス幅が大幅に縮小しており、数量ベースでは輸出が底堅く推移していることが示唆されている。こうした中で生産は5月前年比+8.2%と堅調に推移している。
- ・一方、消費や輸出の減速を補うことが期待されていたインフラ投資は省庁再編に伴う混乱などから予算の執行が遅れ、低水準にとどまっている。
- ・国際金融市場の動揺やインドネシア経済の先行き不透明感からルピア相場下落が続いており、足元、アジア通貨危機後の水準に近づいている。インフラ投資の拡大によって年後半には成長率の加速が見込まれているが、インドネシア中銀は2015年通年の実質GDP成長率見通しを+5.0~5.4%から+5.0~5.2%に下方改訂した。



【インドネシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	6.0	5.6	5.0	5.0	4.9	5.0	4.7					
	個人消費	5.5	5.4	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0					
	総固定資本形成	9.1	5.3	4.1	3.7	3.9	4.3	4.4					
生産	製造業生産(yoy)	4.1	6.0	4.8	4.2	5.8	5.5	5.1		7.4	6.4	8.2	
消費	小売売上(yoy)	14.5	12.9	14.5	13.0	15.3	10.6	15.5	20.4	19.7	23.1	19.8	18.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	1.7	4.1	1.9	2.2	0.5	0.2	2.3	2.0	1.0	0.5	1.1	0.5
	輸出(yoy)	6.6	3.9	3.4	2.5	2.3	10.3	11.8	11.9	10.3	8.3	14.4	12.8
	(除く石油ガス,yoy)	5.5	2.0	2.6	2.0	2.0	7.7	8.4	4.8	7.2	0.0	9.1	5.1
	輸入(yoy)	8.0	2.6	4.5	4.2	3.3	5.3	15.0	20.4	13.2	22.3	21.4	17.4
国際収支	経常収支(10億ドル)	24.4	29.1	25.4	8.8	6.9	5.7	3.8					
	外貨準備高(10億ドル)	105.3	92.9	105.5	100.9	104.7	105.5	105.4	101.8	105.4	104.6	104.6	101.8
物価	消費者物価(yoy)	4.0	6.4	6.4	7.1	4.4	6.5	6.5	7.1	6.4	6.8	7.1	7.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.0	12.8	11.9	13.3	11.9	11.9	16.3		16.3	14.9	13.2	
	株価指数(総合)	4,317	4,274	5,227	4,879	5,138	5,227	5,519	4,911	5,519	5,086	5,216	4,911
	中銀債金利(3ヵ月)	5.75	7.50	7.75	7.50	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート(ルピア/ドル)	9,419	10,563	11,885	11,704	11,840	12,239	12,857	13,160	13,084	12,937	13,211	13,332
	為替レート(円/100ルピア)	0.85	0.93	0.89	0.87	0.89	0.94	0.93	0.92	0.92	0.92	0.94	0.92

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	5.5	4.7	6.0	6.5	5.6	5.7	5.6					
	個人消費	8.3	7.2	7.0	6.5	6.8	7.6	8.8					
	総固定資本形成	19.0	8.2	4.8	6.9	1.3	4.3	7.9					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.2	3.4	5.1	5.8	4.1	5.8	6.5		7.2	4.1	4.5	
消費	自動車販売台数(yoy)	4.6	4.5	1.6	11.2	8.8	3.8	5.2	11.2	14.2	23.1	8.4	1.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	31.1	22.6	25.4	5.7	5.3	6.4	5.9		2.1	1.9	1.5	
	輸出(yoy)	0.3	0.4	2.4	8.6	3.0	4.1	11.1		8.7	18.3	16.4	
	輸入(yoy)	4.8	4.8	1.4	3.1	4.2	0.2	8.6		5.6	16.6	16.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	16.2	11.3	14.5	4.6	2.2	1.7	2.8					
	外貨準備高(10億ドル)	126	122	107	120	117	107	96	97	96	97	98	97
雇用	失業率(%)	3.0	3.1	2.9	2.9	2.7	2.8	3.1		3.0	3.0	3.1	
物価	消費者物価(yoy)	1.7	2.1	3.1	3.3	3.0	2.8	0.7	2.2	0.9	1.8	2.1	2.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.7	8.4	7.5	5.7	5.4	7.5	8.5		8.5	7.0	6.2	
	株価指数(総合)	1,689	1,867	1,761	1,883	1,846	1,761	1,831	1,707	1,831	1,818	1,748	1,707
	インターバンク金利(1M,%)	3.06	3.07	3.21	3.08	3.30	3.37	3.32		3.30	3.29	3.29	
	為替レート(リンギ/ドル)	3.09	3.15	3.27	3.23	3.19	3.36	3.62	3.66	3.68	3.64	3.60	3.74
	為替レート(円/リンギ)	25.8	30.9	32.3	31.6	32.5	34.0	32.9	33.2	32.7	32.9	33.5	33.1

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	6.7	7.1	6.1	6.7	5.5	6.6	5.2					
	個人消費	6.6	5.6	5.4	5.7	4.9	5.0	5.4					
	固定資本形成	10.8	12.2	6.8	6.9	10.7	8.0	10.1					
生産	鉱工業生産(yoy)	7.0	5.4	6.3	10.8	5.3	6.1	0.4		8.9	5.5	7.3	
消費	自動車販売台数(yoy)	10.6	15.7	29.5	26.6	37.6	30.3	21.6	19.8	22.6	18.0	18.1	23.3
輸出入	貿易収支(10億ドル)	10.0	5.7	3.3	0.7	0.4	1.5	1.5		0.2	0.3	0.5	
	輸出(yoy)	7.9	8.8	9.5	12.9	12.6	5.7	0.2		2.1	4.1	17.4	
	輸入(yoy)	2.7	0.5	4.8	0.3	2.5	4.5	4.0		6.5	12.2	13.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	6.9	11.4	12.7	3.1	3.4	4.7	3.3		1.7			
	外貨準備高(10億ドル)	83.8	83.2	79.5	80.7	79.5	79.5	80.4	80.6	80.4	80.8	80.4	80.6
雇用	失業率(%)	7.2	7.2	7.0	7.0	6.7	6.0	6.6	6.4				
物価	消費者物価(yoy)	3.2	2.9	4.2	4.4	4.7	3.6	2.4	1.7	2.4	2.2	1.6	1.2
金融	マネーサプライ(yoy)	9.4	31.8	11.2	23.5	16.4	11.2	8.7		8.7	9.0	9.3	
	株価指数(総合)	5,813	5,890	7,231	6,844	7,283	7,231	7,940	7,565	7,940	7,715	7,580	7,565
	国債(3ヵ月,%,期末)	0.20	0.00	1.42	1.04	1.24	1.42	1.40	2.14	1.397	1.655	2.049	2.14
	為替レート(ペソ/ドル)	42.2	42.4	44.4	44.1	43.8	44.8	44.4	44.7	44.4	44.4	44.6	45.0
	為替レート(円/ペソ)	1.89	2.30	2.38	2.32	2.37	2.55	2.68	2.72	2.71	2.69	2.70	2.75

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

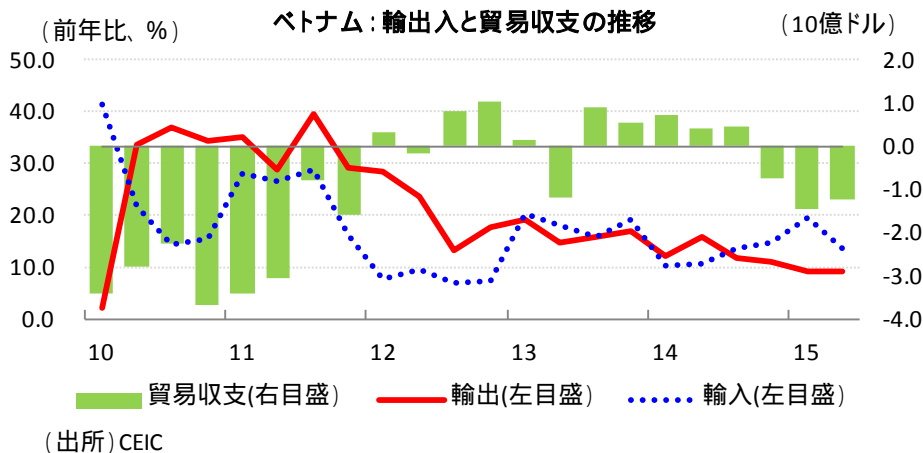
【シンガポールの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	4.4	2.9	2.3	2.8	2.1	2.6					
	個人消費	3.4	3.6	2.5	3.1	1.9	2.2	2.8					
	総固定資本形成	8.6	1.1	1.9	2.4	5.6	1.2	2.6					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.3	1.7	2.7	1.4	1.7	1.2	2.4	4.9	4.6	8.6	1.7	4.4
消費	小売売上金額(yoy)	4.7	0.4	1.6	4.1	3.5	6.1	2.9		1.9	5.0	5.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.6	37.3	43.5	10.5	13.2	11.8	16.4	12.9	6.2	4.4	4.9	3.7
	輸出(yoy)	0.2	0.5	0.2	2.4	0.1	7.1	11.5	14.6	7.4	15.7	15.7	12.4
	輸入(yoy)	3.9	1.8	1.9	2.7	4.4	9.2	21.5	18.8	21.6	20.3	24.6	10.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	49.8	54.1	58.8	14.2	17.5	14.8	19.8					
	外貨準備高(10億ドル)	259	273	257	278	266	257	248	253	248	252	250	253
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	1.8					
物価	消費者物価(yoy)	4.6	2.4	1.0	2.2	1.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.3
金融	マネーサプライ(M2,%)	7.2	4.3	3.3	0.6	1.9	3.3	3.9		3.9	4.5	4.9	
	株価指数(ストリート)	3,167	3,167	3,365	3,256	3,277	3,365	3,447	3,317	3,447	3,487	3,392	3,317
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.38	0.40	0.46	0.40	0.41	0.46	1.01	0.82	1.01	0.89	0.83	0.82
	為替レート(ドル/ドル)	1.25	1.25	1.27	1.25	1.25	1.29	1.36	1.34	1.38	1.35	1.33	1.35
	為替レート(円/ドル)	63.8	77.9	83.4	81.5	83.0	88.3	87.8	90.3	87.4	88.5	90.5	91.9

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気は緩やかに回復している。
- ・1-6月期の実質GDP成長率は前年比+6.3%と1-3月期の同+6.0%から加速し、同年の政府目標(+6.2%)を上回った(四半期別には1-3月期同+6.0 4-6月期+6.4%)。牽引役は製造業(前年比+10.0%;寄与度+1.6%)と卸小売を中心とするサービス業(同+5.9%;寄与度+2.2%)である。また需要項目別の寄与度は消費+7.7%、投資+2.3、純輸出-3.7%であった。
- ・1-6月期の鉱工業生産は、年初からの累計生産台数が早くも1億台を超えた携帯電話(前年比+68.8%)、自動車(同+57.6%)、テレビ(同+40.3%)などを中心に前年比+9.6%と堅調な拡大が続いている。
- ・中間財や資本財に加えて、完成車など消費財の輸入拡大から1-6月期の貿易収支は27億ドルと大幅な赤字になった。政府は今年の輸出の伸び率を+10%と予測しているが、足元の輸入の拡大ペースが変わらなければ、貿易収支は今年、4年ぶりに赤字に転じる可能性がある。



【ベトナムの主要経済指標】

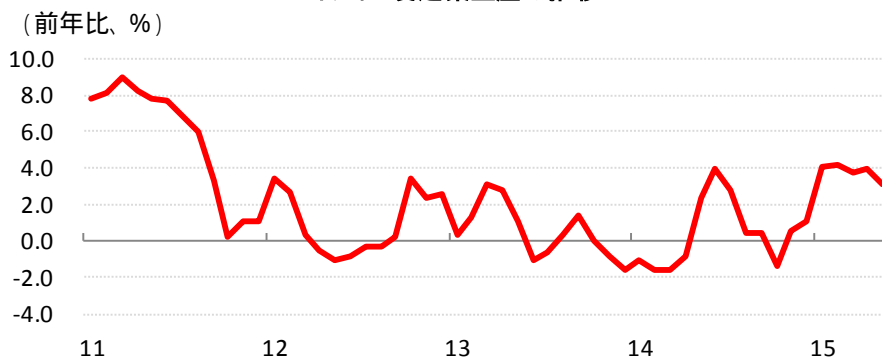
		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	5.4	6.0	5.2	5.6	6.0	6.0	6.3				
	農業	2.7	2.7	3.5	3.0	3.0	3.5	2.1	2.4				
	工業・建設	4.5	5.4	7.1	5.3	6.4	7.1	8.4	9.1				
生産	鉱工業生産(ytd, yoy)	4.8	5.9	7.6	5.8	6.7	7.6	9.1	9.6	9.1	9.4	9.2	9.6
消費ytd	小売売上(名目, yoy)	16.0	12.6	10.6	10.7	11.1	10.6	10.0	9.8	10.0	8.8	9.1	9.8
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.0	0.4	0.8	0.4	0.4	0.7	1.5	1.2	1.4	0.1	1.2	0.1
	輸出(yoy)	20.0	16.5	12.6	15.7	11.9	10.8	9.0	9.3	8.7	2.1	10.4	15.7
	輸入(yoy)	7.9	18.2	12.3	10.5	13.5	14.6	19.7	13.7	18.1	7.7	16.9	16.4
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.1	9.5										
	外貨準備高(10億ドル)	25.2	25.5	33.8	35.4	36.4	33.8						
物価	消費者物価(yoy)	9.3	6.6	4.1	4.7	4.3	2.6	0.7	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0
金融	株価指数(VN index)	413.7	504.6	545.6	578.1	598.8	545.6	551.1	593.1	551.1	562.4	569.6	593.1
	ブライム-ト(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,828	20,949	21,159	21,106	21,246	21,246	21,458	21,601	21,458	21,458	21,673	21,673
	為替レート(円/100ドン)	0.38	0.47	0.50	0.48	0.49	0.54	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.57

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%), ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気を持ち直しは緩やかなものにとどまっている。
- ・5月の鉱工業生産は前年比+2.7%にとどまった。これは鉱業（前年比+2.8%）や電力（同+6.0%）生産は持ち直したものの、製造業生産が同+2.2%と伸び悩んだためである。財別にも原材料生産は同+6.4%と増加したものの、資本財や中間財がそれぞれ同+1.8%、+1.2%にとどまった。また消費財は耐久財（同-3.9%）、非耐久財（同-0.1%）とも振るわず、同-1.6%と落ち込んだ。輸出の低迷が続いていること、事前のモンスーン予想が少雨だったため景気の先行き鈍化が懸念されたことなどから、企業並びに消費者が購入に慎重になっていたことが影響しているとみられている。
- ・消費者物価上昇率は食品価格の上昇から前年比5.4%に上昇したが、原油価格の下落もあり、引き続き中銀の物価目標（6%）以下にとどまっている。一方、卸売物価は国内需要が弱いことを反映し、昨年11月以降、前年比マイナスで推移している。

インド：製造業生産の推移



(出所)CEIC (注)後方3カ月移動平均の前年比。

【インドの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3月	15/4月	15/5月	15/6月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	6.4	7.1	6.7	8.4	6.6	7.5					
	農業生産	1.9	13.8	5.7	8.8	7.3	0.7	3.7					
	実質GDP (年度)	4.5	6.9	7.3									
	農業生産 (年度)	1.4	12.7	4.4									
生産	鉱工業生産(yoy)	0.7	0.6	1.8	4.5	1.3	2.0	3.3		2.5	3.4	2.7	
消費	新車販売台数(yoy)	9.8	7.5	0.8	1.2	7.3	2.6	4.0	6.2	2.7	15.8	4.7	0.5
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	192.9	150.6	140.1	33.0	39.6	38.8	26.0	32.2	11.8	11.0	10.4	10.8
	輸出(yoy)	2.0	6.1	2.5	9.3	1.2	0.7	15.1	17.0	21.3	14.8	20.2	15.8
	輸入(yoy)	5.4	5.0	0.5	6.3	10.3	8.3	13.7	12.7	13.5	7.9	16.5	13.4
国際収支	経常収支 (10億ドル)	91.8	49.2	27.8	7.9	10.1	8.4	1.5					
	外貨準備高 (10億ドル)	261.7	267.7	295.9	289.3	288.0	295.9	317.3	331.5	317.3	327.2	327.8	331.5
物価	卸売物価(yoy)	7.5	6.3	3.8	5.8	3.9	0.3	1.8	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4
	消費者物価(yoy)	9.7	10.1	7.2	8.1	7.4	5.0	5.3	5.1	5.3	4.9	5.0	5.4
金融	マネーサプライ (M3,yoy)	11.2	14.8	10.7	11.8	12.4	10.7	10.8	11.0	10.8	10.7	11.2	11.0
	株価指数(BSE Sensitive)	19,427	21,171	27,499	25,414	26,631	27,499	27,957	27,781	27,957	27,011	27,828	27,781
	T B 3ヶ月	8.41	8.81	8.65	8.69	8.59	8.34	8.30	7.82	8.27	7.94	7.85	7.69
	為替レート (ルピー/ドル)	53.6	59.0	61.1	59.8	60.8	62.2	62.0	63.7	62.6	63.6	63.8	63.8
	為替レート (円/ルピー)	1.49	1.66	1.74	1.70	1.73	1.87	1.92	1.91	1.92	1.87	1.94	1.92

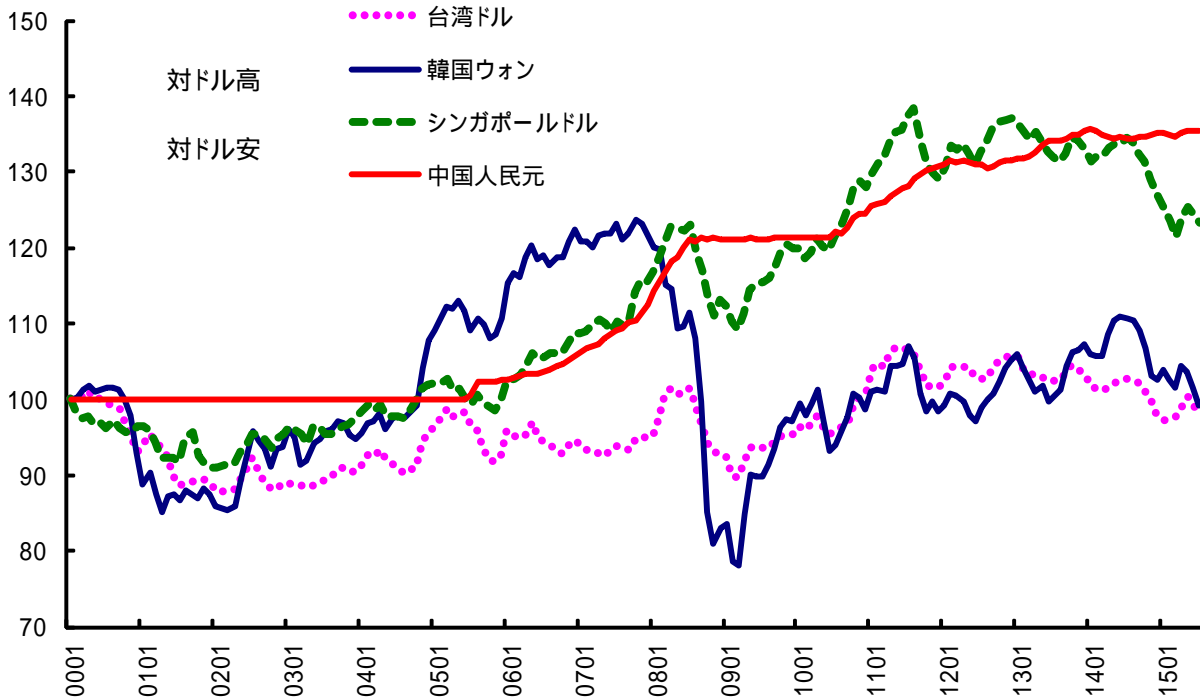
(出所)CEIC (注)yoy = 前年比 (%)、GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

・アジア通貨・株価動向

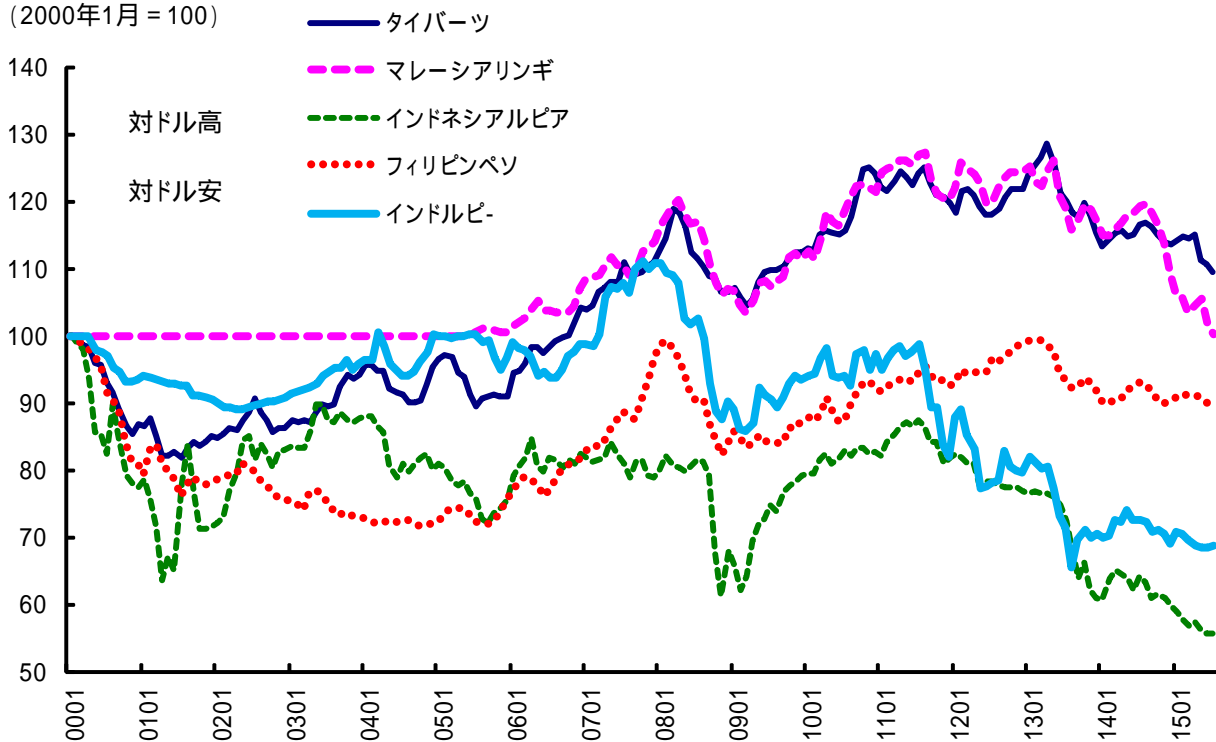
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)



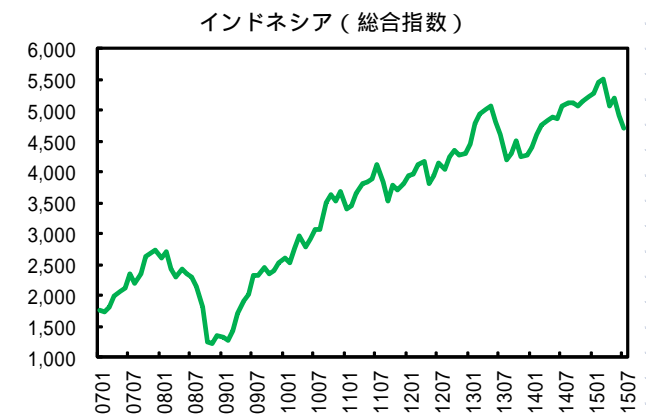
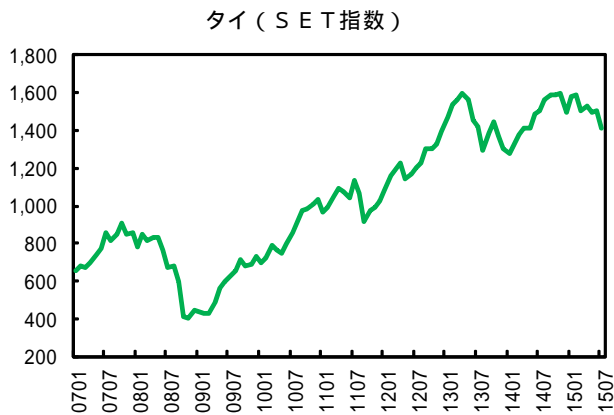
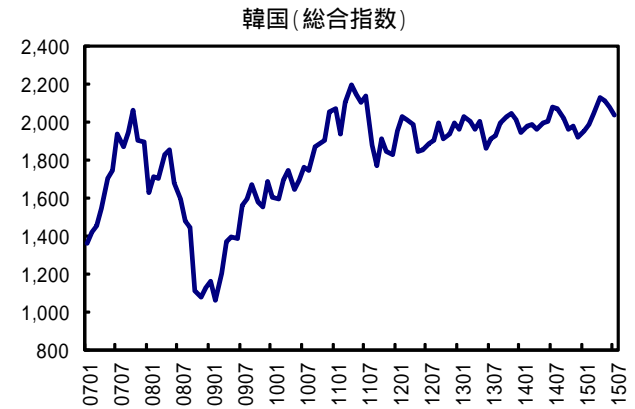
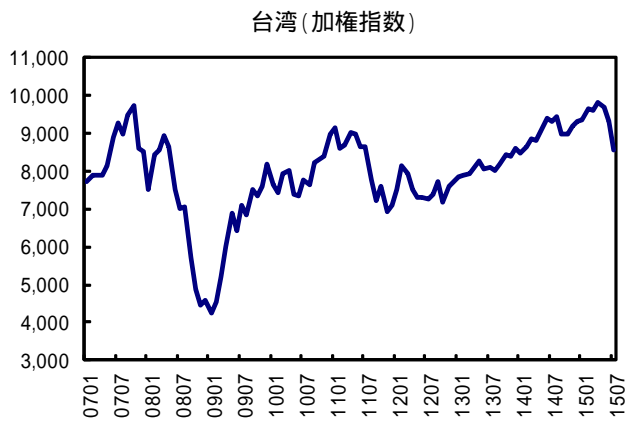
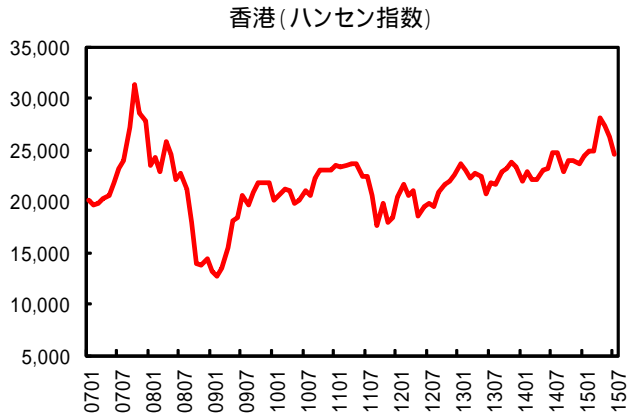
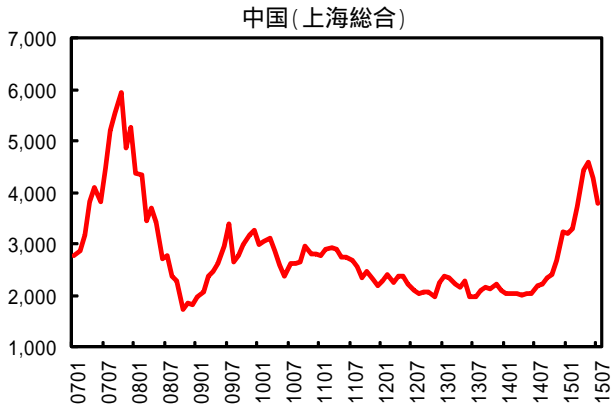
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/1-7/29の平均値。

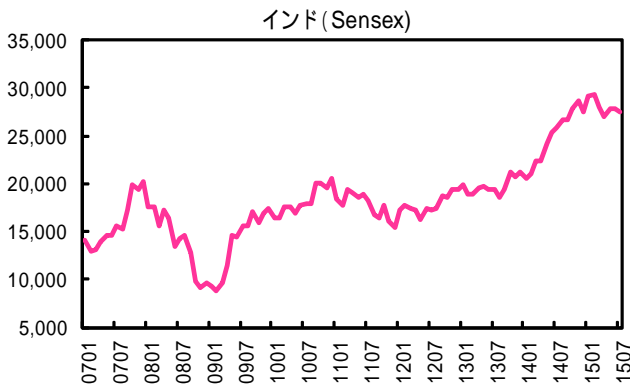
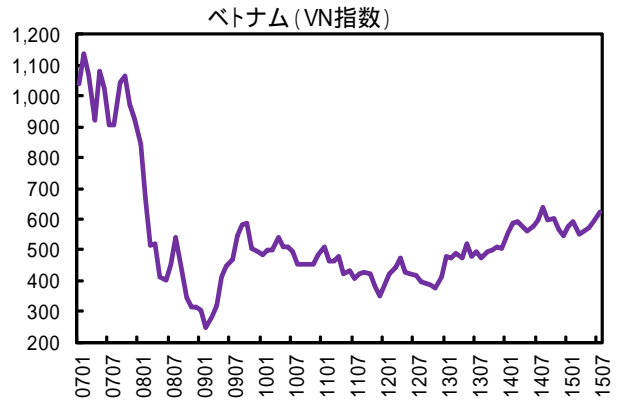
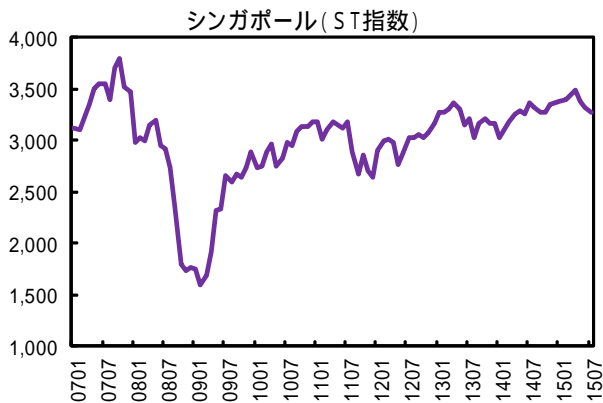
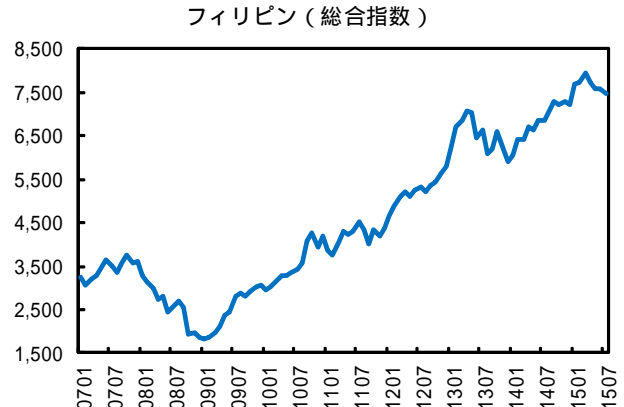
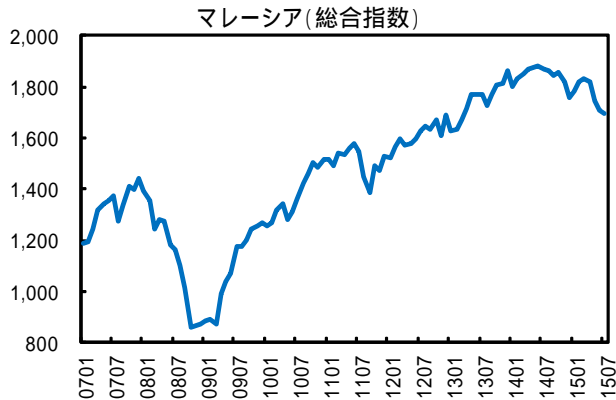
アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/29終値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/29終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。